燃費計（FCM-2000）の取扱い注意事項

燃費計 FCM-2000 は簡単に取り付け、取り外しができ、瞬間的な燃費だけでなく、平均燃費、積算燃費も記録できるので、エコドライブの感覚を身に付けるのに最適です。

１．【燃費計セットの内容】

受取り次第、確認をお願いします。

・ＦＣＭ－２０００本体	1	・ デュアルロックファスナー	1
・車両接続用コード	1	・ 配線締付ベルト	2
・取扱説明書	1	・ 簡単取付マニュアル	1

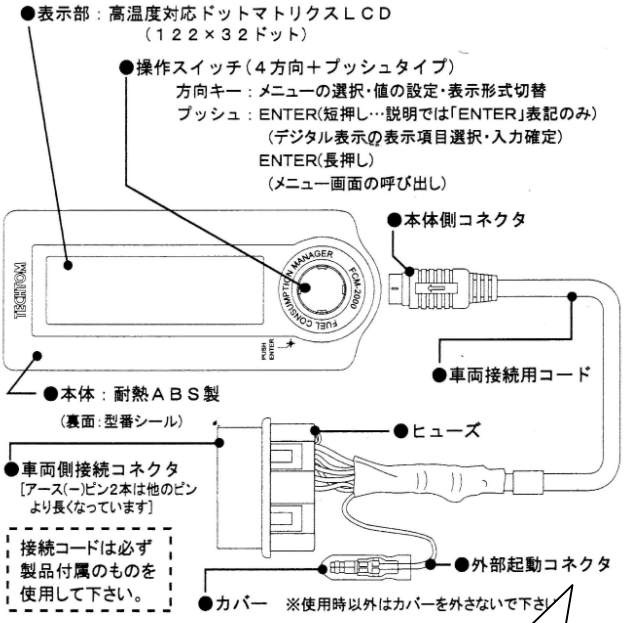
２．【取り付に当たって】

取付けは、**機器の取扱い説明書**にしたがって行ってください。燃費計は、車両診断用コネクタにコードを接続して使用しますが、車両によっては、接続が困難なものもあります。下記メーカーサイトの対応車種一覧で予めご確認下さい。

http://www.techtom.co.jp/FCM_Wmach.html

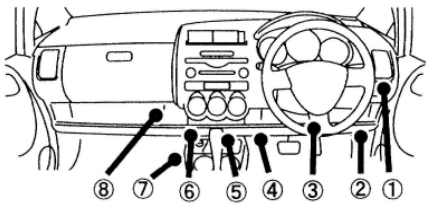
３．【燃費計の取り付け方】

ＦＣＭ－２０００本体に付属のコネクタをつなぎ、エンジンを掛けていない状態で、車両診断用コネクタに接続します。（外すときも、エンジンを切った状態で行うこと）



車両の診断用端子の位置は、車両によって異なります。（下図）
判らないときは、販売店にご確認下さい。

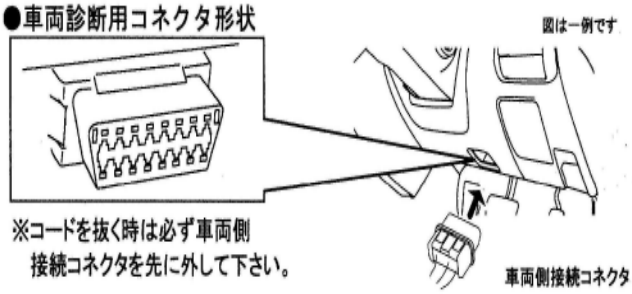
●車両側コネクタの位置　～ダッシュパネル下・裏側にあります。
車種及び年式等により、コネクタの位置が異なります。
下図におおよその設置位置を示しますので、ご確認下さい。



車種によりフタ・パネルカバーなどで覆われている場合があります。⑥、⑦などはカーペットを剥がさないと確認できない場合があります。

①:ステアリング右手ダッシュパネル内
②:運転席右下
③:ステアリングコラム下
④:運転席左下
⑤:センターコンソール
⑥:センターコンソール裏側
⑦:助手席センターコンソール裏側
⑧:グローブボックス裏側

外部起動コネクタは今回は使用しません



本体は、運転に支障が無く、判りやすい
位置に、付属のデュアルロックファスナー
（マジックテープ）などでしっかりと
取り付けてください。

取付け例

４．【起動方法】

コネクタを接続すると、本体窓部に「**車両メーカーを選択して下さい**」との表示が出ます。
数秒後にメーカー名が表示されますので、**方向キー**でメーカー名を選択し、**ＥＮＴＥＲ**を
押して決定します。これが済むと、画面表示は消えます。

以後、燃費計は、エンジンをかけるときの電圧変動を読み取って**自動的に作動**し始め、エンジンを停止してから５分で消えます。

なお、燃費計を別の車両に付け替えたときには、「付け替えたのか」と聞いてきます。
そこで「はい」を押していただくと、初回と同様に、メーカー名を書き替えることができます。
車種が同じでも、燃費は微妙に違ってきますので、再度補正（下記）をお願いします。

５．【補正】

車種、メーカー名を指定しただけでは誤差が出るので、最初に**実際の走行データ**を入力して**補正**することが必要です。
取付けが終わったら、ガソリンスタンドに行き**満タン給油**した後、以下の操作を行ってください。
①車両のトリップメーターを**リセットしてゼロ**にする。
（リセット方法は車の取説に従って行ってください）
②燃費計**ＦＣＭ－２０００をリセットする。**
③ある程度走行（100Km 以上が望ましい）した時点で、**再度ガソリンを満タン**にします。
そのときの車両のトリップメーター**走行距離**と、ガソリンの**給油量**をメモして、この数値を**燃費計に入力**します。

入力方法

ＦＣＭ本体のボタンを長押しすると、メニュー画面に入ります。
方向キーで、「データ」→「実値入力」を選び、決定（ENTER）します。
車載トリップメーターの走行距離と、給油量の数値を入力します。

④**燃費計ＦＣＭ－２０００をリセット**する

これで補正は完了、いよいよモニタリング開始です。